

## 第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年10月15日(金)5校時  
児 童 男17名 女10名 計27名  
指導者 三橋俊文

- 1 単元名 動物と人間のかかわりを調べよう  
教材名 「動物とくらす」

- 2 単元について

- (1) 教材について

「動物とくらす」は、事例を挙げて説明する文章構造に特徴がある。犬やハムスターなどの身近な動物が人間を元気にする力を持っているということを例示した上で筆者の考えを示している。

命あるものに直接触れることで与えられるエネルギーについて知った児童が、動物との暮らしをどう考えるか、また、自分とお年寄りや病気の人との暮らしをどう見つめるか、いろいろな時期に思い起こして欲しい教材である。

「パンフレットを作ろう」は、調べる方法やメモのとり方といった調べ学習の基礎を学習することができる教材である。児童が調べようとする課題を自ら調べ、調べたいことをもとに、動物を紹介する文章を書く学習をする。本単元は身近にいる動物とのかかわりについて新しい視点で考えさせ、調べ学習まで探究心を持って学習できる教材である。

- (2) 児童について

3年生27名は、昨年度のCRT検査では、全国比を見ると決していい結果とはいえない。特に語句や表現に気をつけて注意しながら読むこと、身近なことについて話し合うこと、文のきまりや語の意味理解が落ちている。

昨年行った時間的な順序に気をつけて読む説明文、「タンポポのちえ」、大事なところに気をつけて読む説明文「サンゴの海の生きものたち」では、生きものについて非常に興味・関心を持って読み進めることが出来たものの、ワークシート等を使って場面を短く区切って丁寧に読み進めていかないと、中々理解できない子もいた。そのため、毎日の音読で繰り返し読む活動を取り入れたりもした。そのことによって、1学期に学習したまとまりに気をつけて読む説明文「ありの行列」については、段落ごとに指示語などにも注意して内容の大体をつかめる子が徐々に増えてきている。

- (3) 指導について

本単元「動物と人間のかかわりを調べよう」は、「動物とくらす」という説明文の読み取り教材と「パンフレットを作ろう」という発展学習からなっており、主体的な読み取りが効果的に行われるように構成されている。そこで、読み取りにおいて、筆者の問題提示の仕方に着目して読み進め、「読むこと」で身に付けた力を使って、自分の興味・関心がある事柄を調べ、それをパンフレット形式でまとめる活動を学習のゴールとしたい。

読み取りにおいては、「こそあど」言葉に注意しながら、筆者が動物のどんな力に着目して述べているか、そして、「たとえば」で例示された体が動くようになった例、心によい作用を与える例の二つの例示の内容の違いについて注意させながら正しく読み取らせて

いきたいと考える。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 目標

- ・動物と人間のかかわりに興味をもち、読み手に分かりやすく伝えるための「例示」に着目し、文章を正しく読むことができる。(読イ)
- ・動物と人間のかかわりについて本を読んで調べ、分かったことをパンフレットにまとめることができる。(書イ)

#### (2) 評価規準

- ・動物と人間のかかわりに関心を持ち、自分の体験と重ね合わせて読もうとしている。(関) 分かりやすくするために、例示など、読み手に対する文章の工夫されているところに注意して読んでいる。(読イ)
- ・動物と人間のかかわりについて必要な事柄を収集したり選択したりしている。(書イ)

### 4 単元指導計画(15時間)

次	時	主な学習活動	指導目標
1	1	・単元名とリード文を読み、動物とかかわった経験について話し合い、学習計画を立てる。	・単元名とリード文を読んでこれまで動物とかかわった経験について話し合い、みんなで学習計画を立てることができる。
2	2	・「動物とくらす」を通読し、初発の感想を書く。	・「動物とくらす」を読んで、感じたことや思ったことなどを書くことができる。
	3	・筆者の提示した話題について読み取る。(1、2段落)	・動物と人間とのかかわりや、問題提示文を読み取ることができる。
	4	・動物はどのようにして、人間を元気にするのかを読み取る。(その1)	・動物たちと遊ぶことが体を動かすのに役立つことを読み取るができる。
	5 (本時)	・動物はどのようにして、人間を元気にするのかを読み取る。(その2)	・動物が人間の心を元気にする力を具体例から読み取ることができる。
	6	・筆者の言いたいことを考えまとめる。	・「動物と良い友達でいられるよう、動物たちが、人間と幸せに暮らしていけるよう、考えていきたい。」の文を読み取ることができる。
3	7	・「動物と人間のくらしのパンフレット」作りについて意欲を持ち、全体の見通しを持つ。	・教材文を読み、動物がどんなところでどんな風に人間とかかわっているかを調べることができる。
	8 9	・図書室で資料を探し、必要な部分をメモする。	・教材文を読んで、目的にあった本や資料の探し方やメモのとり方について知ることができる。
	10 }	・テーマを明らかにし、必要なことをメモする。 ・メモを活用しながら、パンフレットの原稿を作る。	・図書を調べ、テーマに沿ったメモをすることができる。 ・共通課題と個人のテーマが盛り込まれたパンフレット原稿を作ることができる。

3	15	・交流会を開く。	・パンフレットを回覧し感想を交流することができる。
---	----	----------	---------------------------

5 本時の指導（本時 5 / 15）

（1）目 標

動物はどのようにして人間を元気にするのかを読み取ることができる。

（2）評価規準

動物とふれ合うことで、安らかな気持ちになり人間が元気になることをまとめることができる。

（3）研究主題との関連

説明文教材を正しく読み取るための指導法の研究の「 要点をとらえさせる方法や手順（エ）段落と段落とのつながりを考えながら読む。」との関連で指導する。

動物が人間の心を安らかにするとは、人間が動物と関わる中で心に穏やかさや、優しさが自然と引き出され、結果的に心の安らかさにつながるということを指している。そして、そのことは人間が元気に過ごすうえで非常に大切な役割を果たしているとある。それは、5、6段落で犬と人間の関わりについての具体例を通して、更に7段落では、動物全てと人間との関わりについてまとめられている。このような段落のつながりに気をつけさせながら読み取らせていきたいと考える。

（4）展 開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点と評価
つかむ 3分	1 前時の学習について想起する。  2 学習課題を知る。  動物はどのようにして、人間を元気にするのかを読み取ろう。（その2）	・一つ目の例「動物たちと遊ぶことが体を動かすのに役立つこと」について理解しているか確認する。
見通す 5分	3 学習の見通しを立てる。	・5、6段落に犬と人間の関わり、7段落には動物全てと人間の関わりが書かれていることを確認し、読みのめあてを持たせる。

学 び 合 う 3 2 分	4 学習場面を音読する。 ( P 2 6 L 9 ~ P 2 8 L 3 まで )  5 5、6 段落について内容を読み取る。 ・「作用」について確認する。 ・5 段落目から今度の動物は何か、そして何をしたのか、結果的に人にはどんな変化があったのかを読み取る。 ・6 段落目から、犬が人間の心にどんなよい作用をあたえるのかを読み取る。	・学習課題に気をつけながら全文を音読する。  ・ワークシートをたよりにお年寄りや、病気の人がどんな様子になっていくのか「～ます。」「～です。」という語尾に気をつけて本文から探すようにさせ、その結果6 段落でお年寄りや病気の人がどのように変わっていくのか考えさせる。 <b>【評】</b> 犬が人間にあたえるよい作用について
学 び 合 う 3 2 分	6 7 段落について内容を読み取る。 ・他の動物についても犬と同じことが言えるか考える。 ・おだやかさや、やさしさは人間にとってどんないいことがあるのか考える。  7 学習課題の答えのまとめを書く。	て人の気持ちをなくさめ、元気にさせるということがワークシートに書いているか。 ・他の動物も犬のように人の心に変化をあたえるかどうか本文から見つけるようにさせる。 <b>【評】</b> 安らかな気持ちでいることが、人間が元気ですごすうえでとても大切であるということがワークシートに書いているか。 <b>【援】</b> 机間指導をしながら、終わりの文に着目させ、「元気」というキーワードを見つけさせ、それをヒントとしてワークシートへ記入させる。
ま と め る 5 分	8 自己評価をする。  9 次時の学習内容を知る。	・動物が人間の心により作用をあたえることについて自分で読み取ることができたかどうか振り返らせる。 ・前時、本時で学習した、たとえば、を使って全体のまとめをすることを知る。

( 5 ) 具体的評価規準

- A 「こそあど言葉」に気をつけて指し示す内容まできちんと理解しながら、人間が元気になることをワークシートにまとめている。 ( 読イ )
- B 動物とふれ合うことで安らかな気持ちになり人間が元気になるということをワークシートにまとめている。 ( 読イ )
- 【C 児への支援】**机間指導をしながら、6 , 7 段落とも終わりの文に着目させ、キーワードとなる「元気」という言葉を探させ、これを手がかりとしてワークシートに記入していくことを支援する。

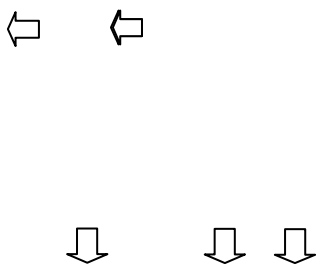
( 6 ) 板書計画

				6 だん落		5 だん落		
				犬		犬		
る	温	体	顔	頭	な	部	ふ	れ
	か	に	や	を	で	屋	れ	合

動物とくらす

か題

動物たちはどのようにして人間を元気にするのか読み取ろう(その二)



7 だん 落

動物と(ふれ合う)ことで

(安らかな)気持ちになり

人間が(元気)になる

まとめ

動物たちは人間とふれ合うことで安らかな気持ちにあたえ人間を元気にする。

